



ミライアル株式会社 2013年1月期 第2四半期決算説明資料

2012年9月7日



ミライアル株式会社



目次

2013年1月期 第2四半期累計期間決算概要.....	2
2013年1月期 第2四半期会計期間決算概要.....	10
2013年1月期業績予想	14
トピックス.....	18
弊社を取り巻く業界環境	21
今後の経営戦略	23



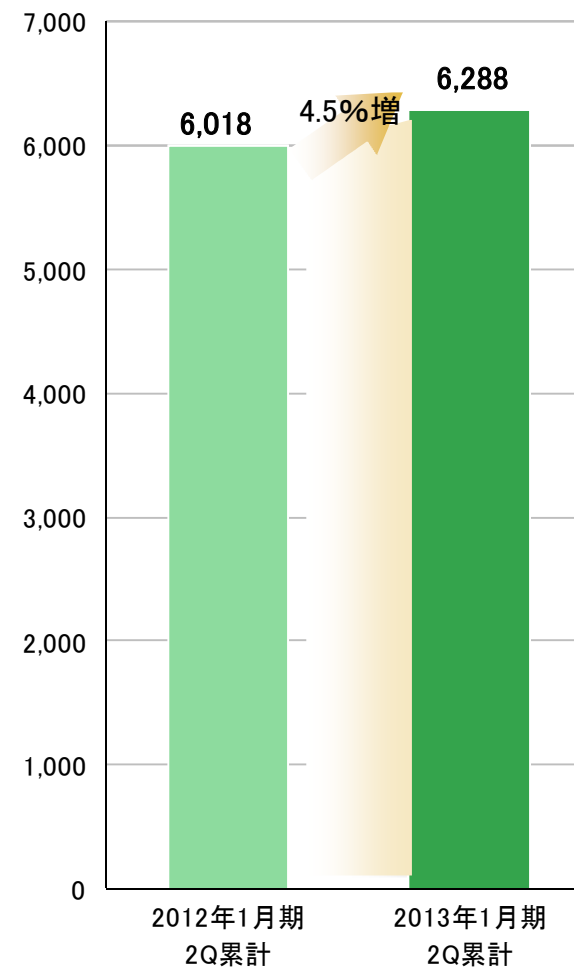
2013年1月期 第2四半期累計期間決算概要

1. 売上高/経常利益の比較(連結)

- 売上高は、プラスチック成形事業における受注増加により、好調に推移しました。その結果、前年同期比4.5%増となりました。
- 経常利益は、プラスチック成形事業における顧客の価格下げ圧力がありましたが、販売量の増加とコスト削減効果により、前年同期比1.0%増となりました。

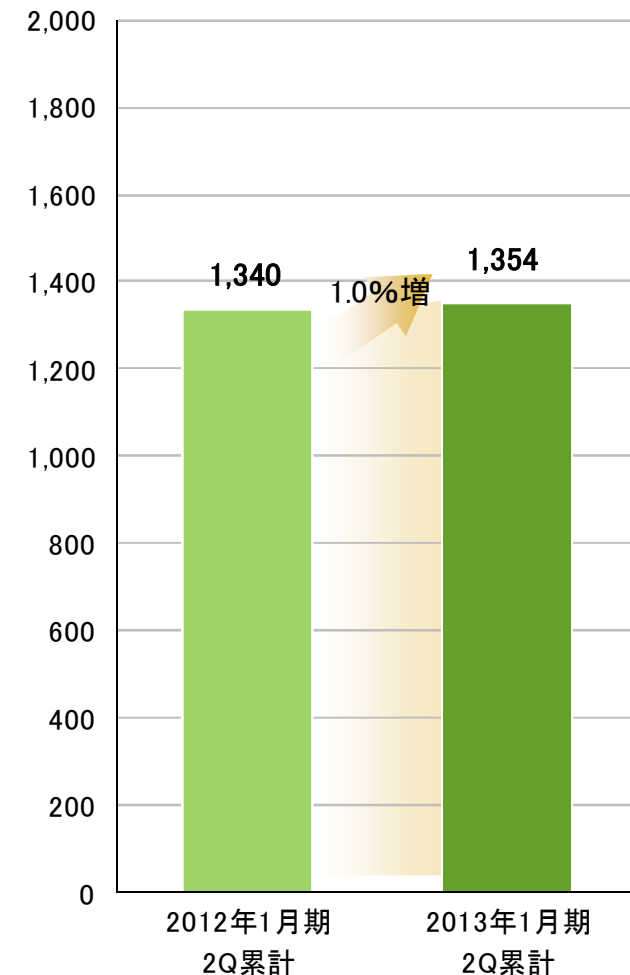
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



2. 2013年1月期 第2四半期累計期間決算概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2012年1月期 第2四半期累計		2013年1月期 第2四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	6,018	△3.2	6,288	4.5
売上総利益	2,169	△19.3	2,392	10.3
営業利益	1,180	△30.4	1,322	12.0
(営業利益率)	19.6		21.0	
経常利益	1,340	△29.2	1,354	1.0
税引前当期純利益	1,284	△43.0	1,261	△1.7
当期純利益	646	△54.9	869	34.6
設備投資	20		352	
減価償却	226		194	
純資産	15,906		16,871	
総資産	20,162		20,986	

個別業績

(単位:百万円・%)

	2012年1月期 第2四半期累計		2013年1月期 第2四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	5,064	△5.6	5,428	7.2
売上総利益	1,901	△22.3	2,107	10.9
営業利益	1,180	△32.4	1,316	11.5
(営業利益率)	23.3		24.3	
経常利益	1,276	△31.0	1,338	4.9
税引前当期純利益	1,237	△39.6	1,327	7.2
当期純利益	705	△42.5	771	9.3
設備投資	11		362	
減価償却	208		177	
純資産	15,690		16,493	
総資産	18,775		19,880	

3. 事業別売上高の比較

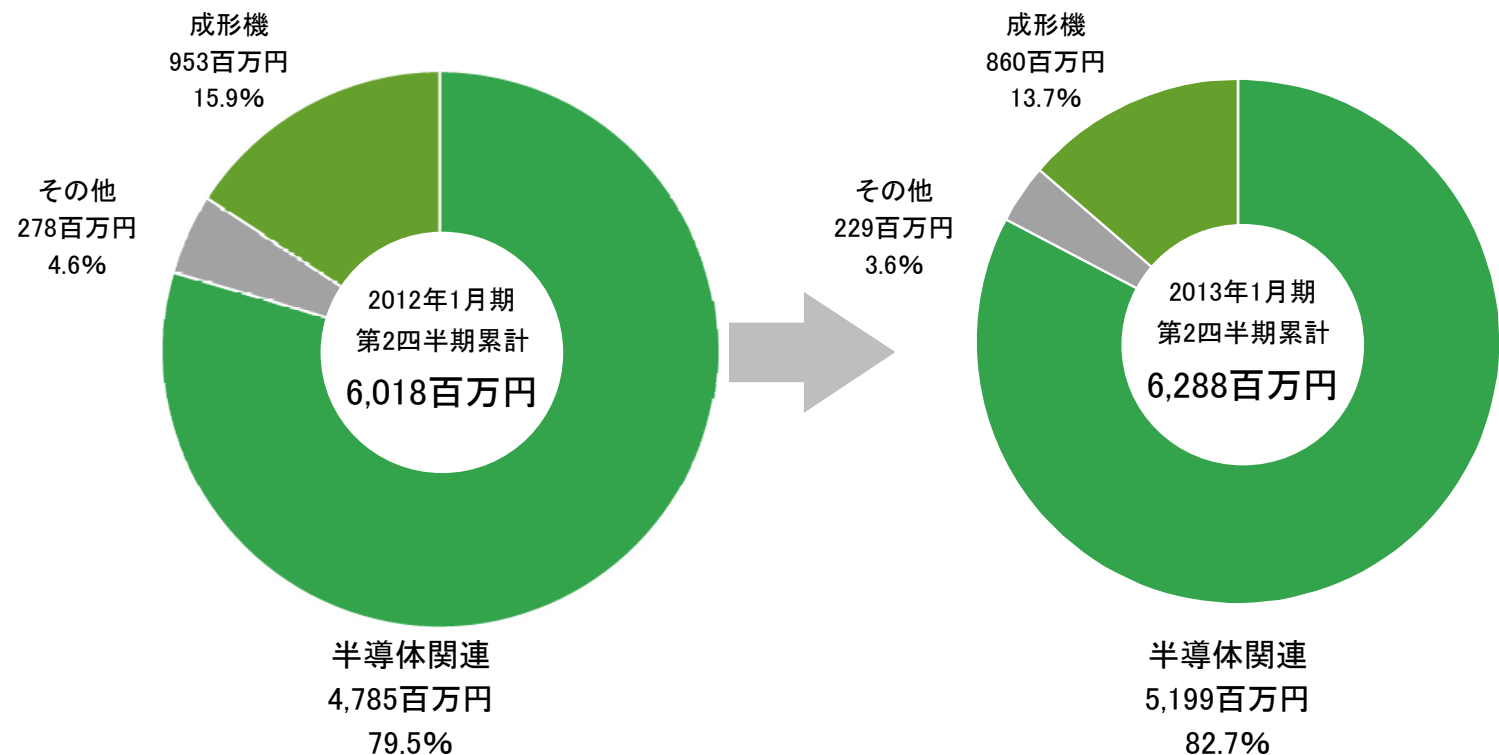
事業別売上高(連結)

■ プラスチック成形事業

- 半導体関連事業は、8.6%増の51億99百万円。
- その他事業は、17.5%減の2億29百万円。

■ 成形機事業

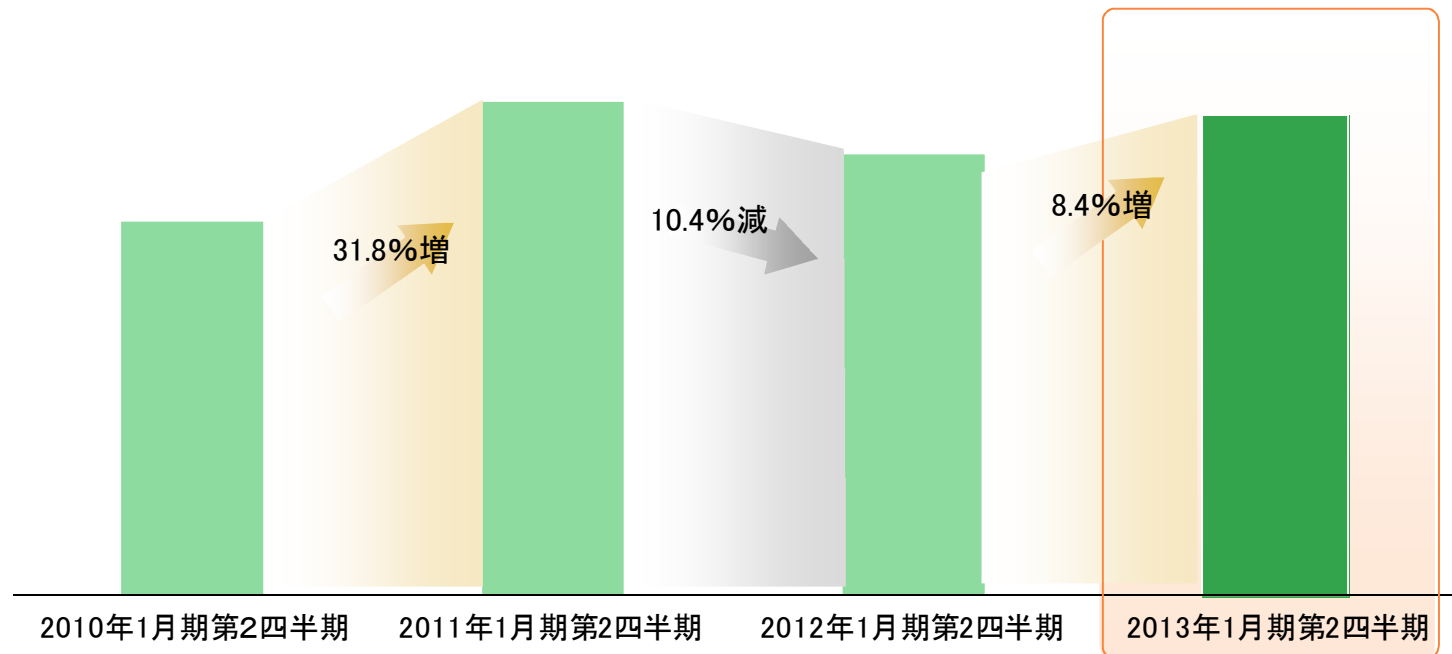
- 成形機事業は、9.8%減の8億60百万円。



4. 半導体関連製品事業の業績

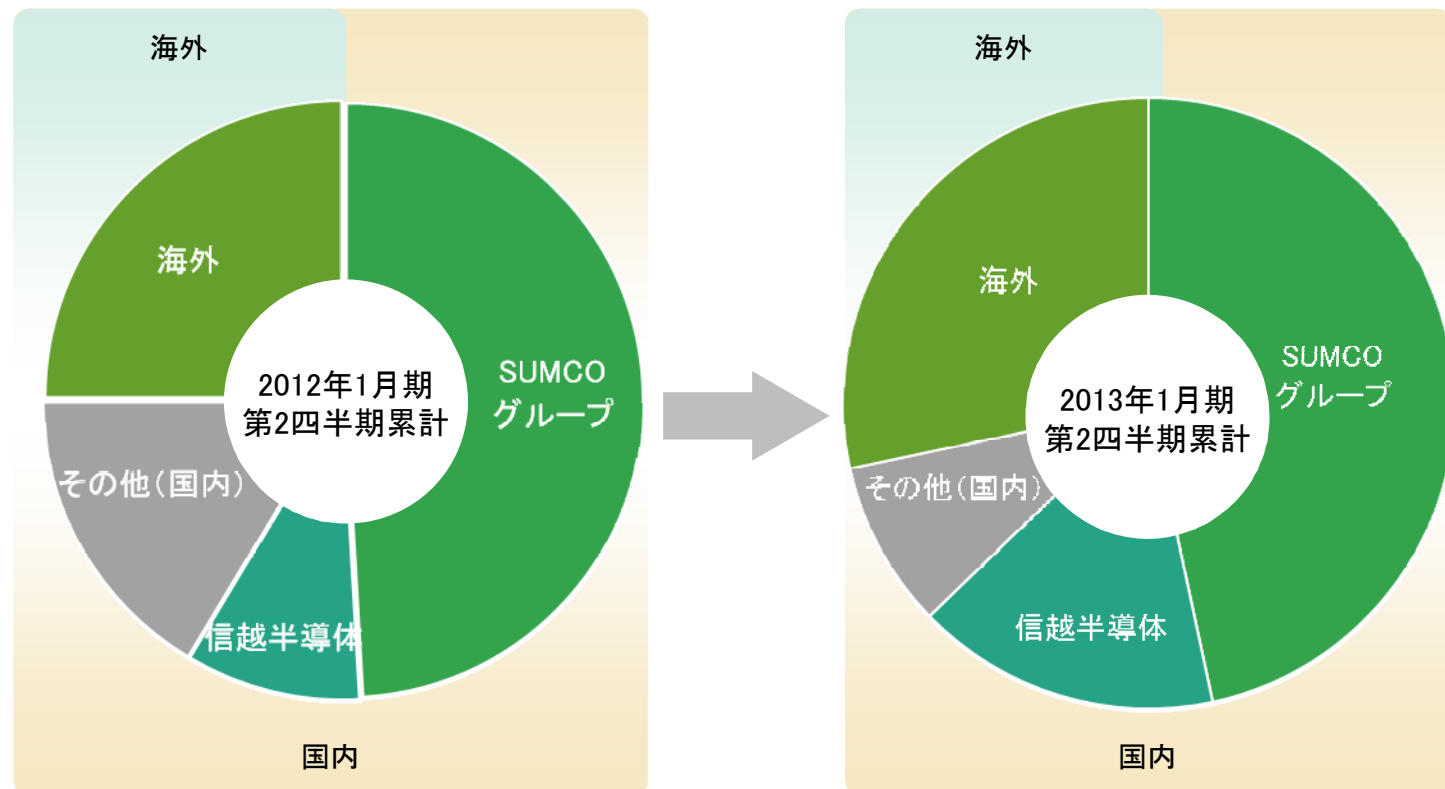
- 出荷容器は前年同期比8.4%増、工程内容器は、前年同期比10.2%増となっております。

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移



5. FOSB出荷実績得意先別シェア

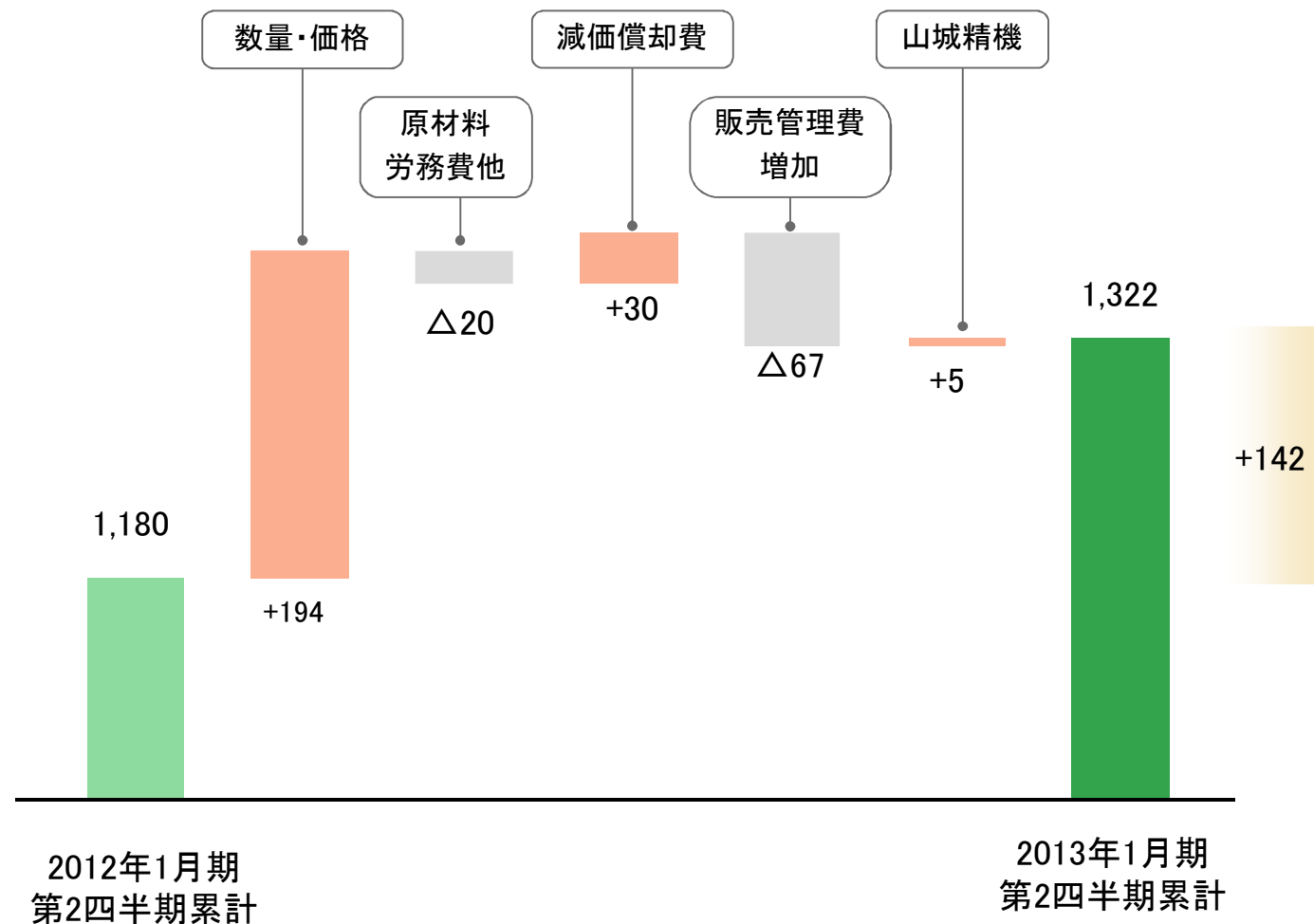
弊社FOSB出荷実績得意先別シェアの動向



6. 営業利益増減要因分析(連結)

対前年同期比

(単位:百万円)





(ご参考) キャッシュフロー(連結)

キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	2012年1月期 第2四半期累計	2013年1月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュフロー	922	791	△131
投資活動によるキャッシュフロー	△2,371	△48	2,122
財務活動によるキャッシュフロー	△716	△365	351
有利子負債減少	△412	△61	350
配当金支払	△303	△303	0
現金及び現金同等物期末残高	5,270	5,694	223

- 2012年1月期第2四半期累計における投資活動によるキャッシュフロー△2,371百万円は、主に3ヶ月超1年未満の定期預金に振り替えたことによる減であります。



2013年1月期 第2四半期会計期間決算概要



1. 業績ハイライト

- 連結売上高は、1Qから9.5%減の29億87百万円でした。
- 個別売上高は、1Qから13.0%減の25億24百万円でした。
- ミライアル単体は、主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」は、顧客における前年度後半からの在庫調整局面が一段落し、顧客からの受注増加が見られたことから、売上高は好調に推移し、セグメント利益も増加しました。
- 連結子会社である(株)山城精機製作所は、震災の影響や円高の長期化等の外部環境により、引き続き予断の許さない状況で推移いたしました。これに対して、更なるコスト改善と高付加価値製品の拡販に注力した結果、売上高は低調に推移したものの、セグメント利益は増加となりました。

売上高推移(四半期毎)

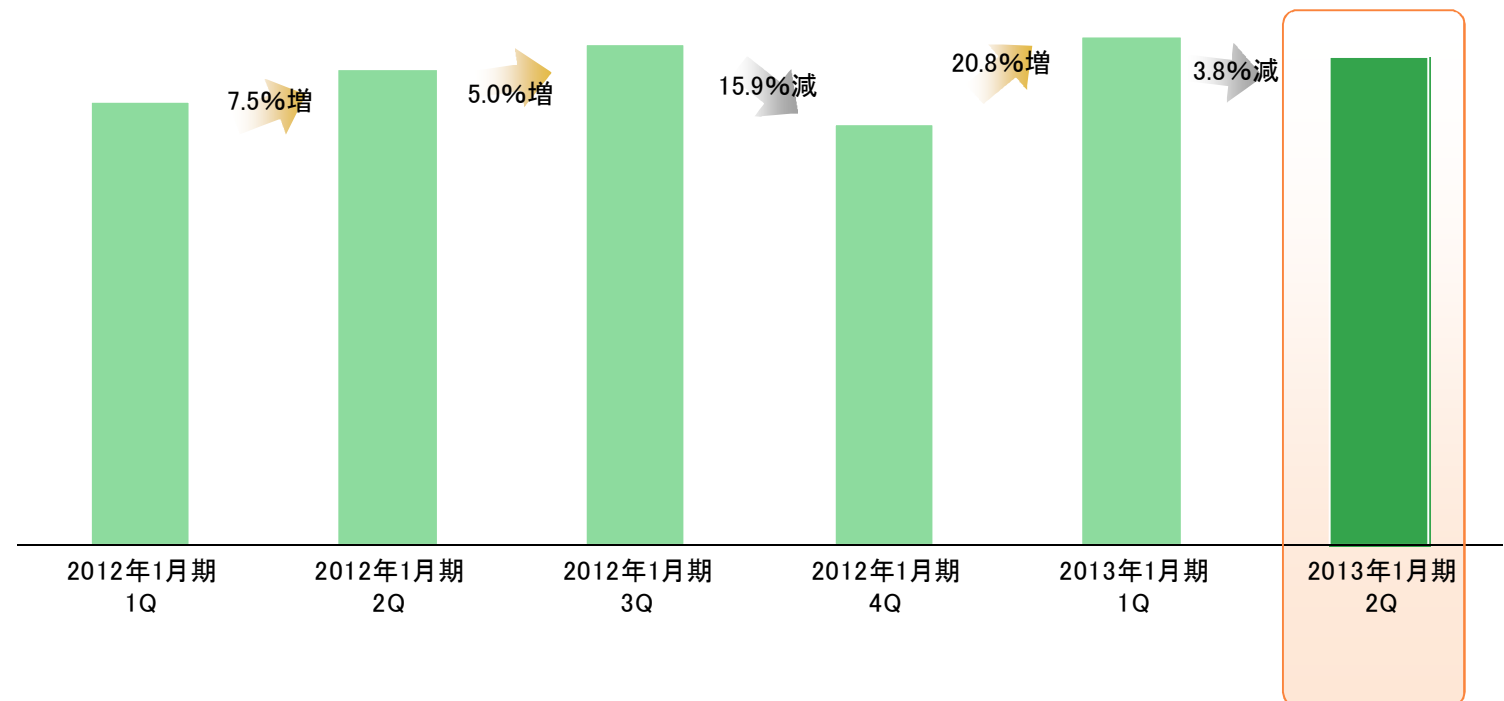




2. 半導体関連事業の業績

- 出荷容器は、1Qから3.8%減となっております。

シリコンウェハ出荷容器 売上高の推移(四半期毎)



3. 2013年1月期 第2四半期会計期間決算概要

連結業績

(単位:百万円・%)

	2013年1月期 第1四半期		2013年1月期 第2四半期	
	金額	前四半期 増減率	金額	前四半期 増減率
売上高	3,301	15.3	2,987	△9.5
売上総利益	1,225	29.0	1,167	△4.7
営業利益	674	50.9	648	△3.9
(営業利益率)	20.4		21.7	
経常利益	684	45.4	670	△2.0
税引前当期純利益	601	30.3	659	9.6
当期純利益	323	△0.1	545	68.4
設備投資	68		283	
減価償却	96		98	
純資産	16,321		16,871	
総資産	20,991		20,986	

個別業績

(単位:百万円・%)

	2013年1月期 第1四半期		2013年1月期 第2四半期	
	金額	前四半期 増減率	金額	前四半期 増減率
売上高	2,903	21.8	2,524	△13.0
売上総利益	1,101	34.3	1,006	△8.6
営業利益	697	51.9	618	△11.3
(営業利益率)	24.0		24.5	
経常利益	701	54.6	637	△9.1
税引前当期純利益	701	54.8	626	△10.7
当期純利益	415	68.4	355	△14.6
設備投資	68		293	
減価償却	87		89	
純資産	16,134		16,493	
総資産	19,636		19,880	



2013年1月期業績予想



1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には拡大を続けていく見通しです。
- 半導体業界の成長率は微増の予想にとどまり、品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- リユースについては、足下で全体の容器量の内、30%前後で推移していると予想しています。今後も同様に推移すると見込んでいます。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、汎用機の標準化と付加価値の高い特殊機に重点を置き、売上高・利益ともに回復を図ってまいります。

営業利益、経常利益

- グループでのコラボレーションを強化し、更なるコストダウンを実施します。
- 既存製品の設備投資は、合理化及び品質維持に要する設備投資に限定します。
- 450mm関連製品は、市場動向を見極め積極的に取り組み、開発投資、設備投資をしていきます。このため、先行して開発費、償却費の負担が発生します。

2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2012年1月期		2013年1月期(予)			
			2013年1月期 第2四半期累計			
	金額	前期増減率	金額	前期増減率	金額	前期増減率
売上高	11,867	△0.6	6,288	4.5	12,660	6.7
営業利益	2,295	△21.2	1,322	12.0	2,190	△4.6
経常利益	2,475	△22.1	1,354	1.0	2,200	△11.1
(当期)純利益	1,348	△38.5	869	34.6	1,240	△8.1

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2012年1月期			2013年1月期(予)					
				2013年1月期 第2四半期累計					
	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率
プラスチック成形事業	10,120	85.3	△0.6	5,428	86.3	7.2	10,460	82.6	3.4
半導体関連	9,634	81.2	△0.7	5,199	82.7	8.6	9,930	78.4	3.1
その他	485	4.1	△0.2	229	3.6	△17.5	530	4.2	9.1
成形機事業	1,747	14.7	△0.5	860	13.7	△9.8	2,200	17.4	25.9
合計	11,867	100.0	△0.6	6,288	100.0	4.5	12,660	100.0	6.7



3. 450mm関連について

450mm関連設備投資

■ 今期の設備投資額 13.9億円

うち450mm関連 10.6億円

■ 450mm関連設備投資

建物等 1月着工 8月完成

機械設備 順次導入

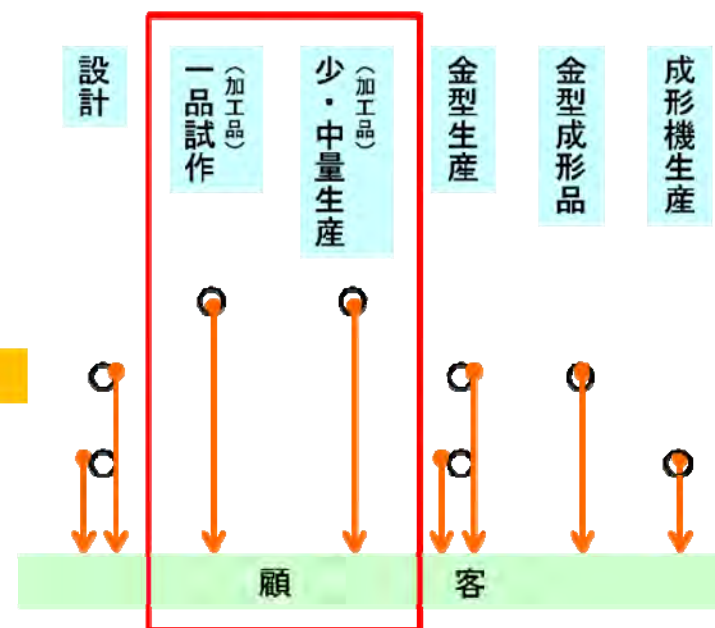
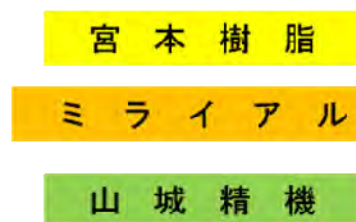
金型 秋口完成が中心



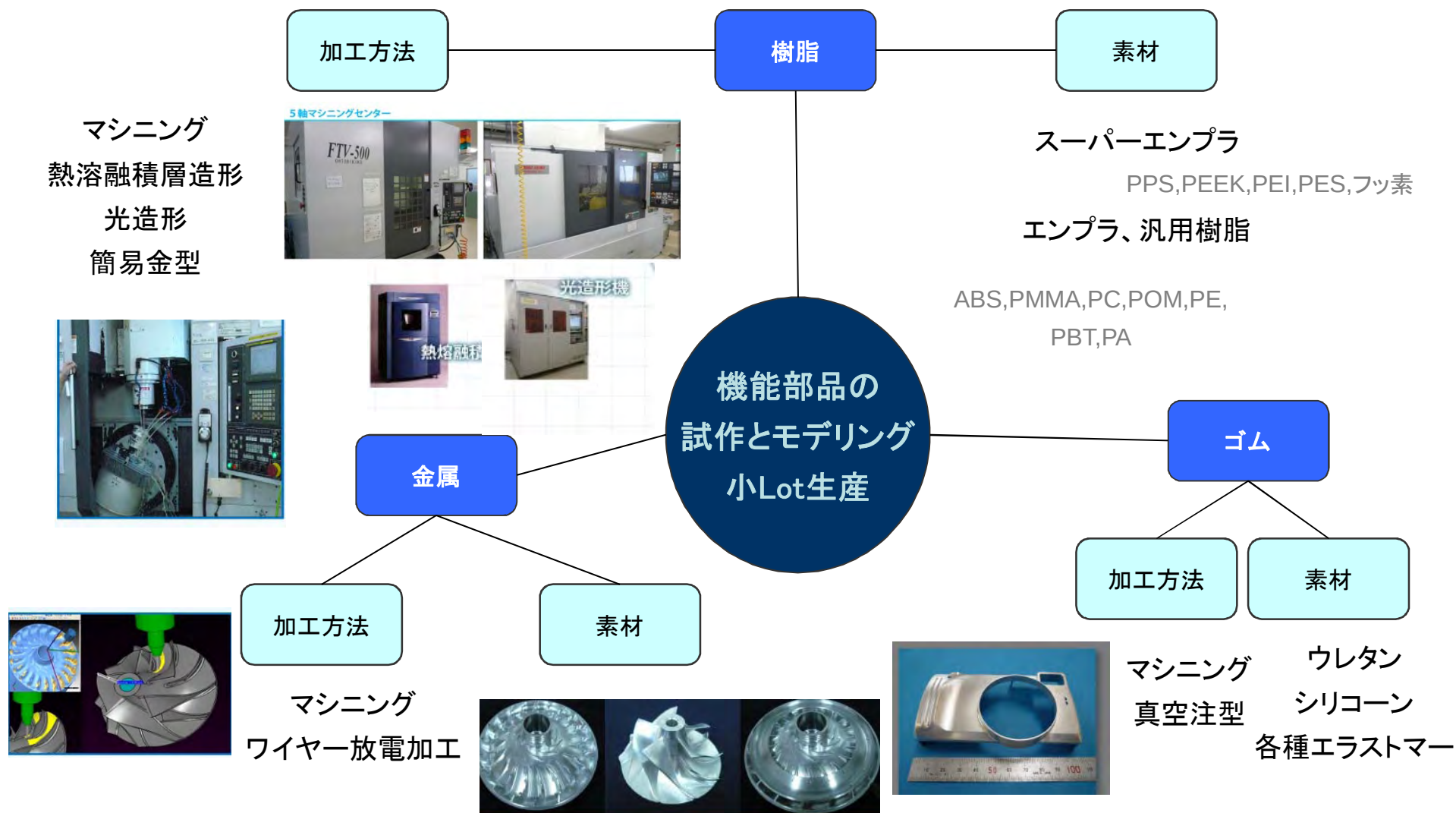
トピックス

(株)宮本樹脂工業のグループ化

- 子会社化 平成24年7月31日
- 会社設立 昭和60年11月1日
- 所在地 福島県福島市太平寺字古内45-2
- 株主 当社100%
- 資本金 10百万円
- 売上高 382百万円(平成23年9月期)
- 事業内容 プラスチック・金属の精密機械加工
(試作・モデリング)
RP(ラピッドプロトタイプモデリング)/真空注型
- 従業員 35名



(株)宮本樹脂工業のグループ化





弊社を取り巻く業界環境

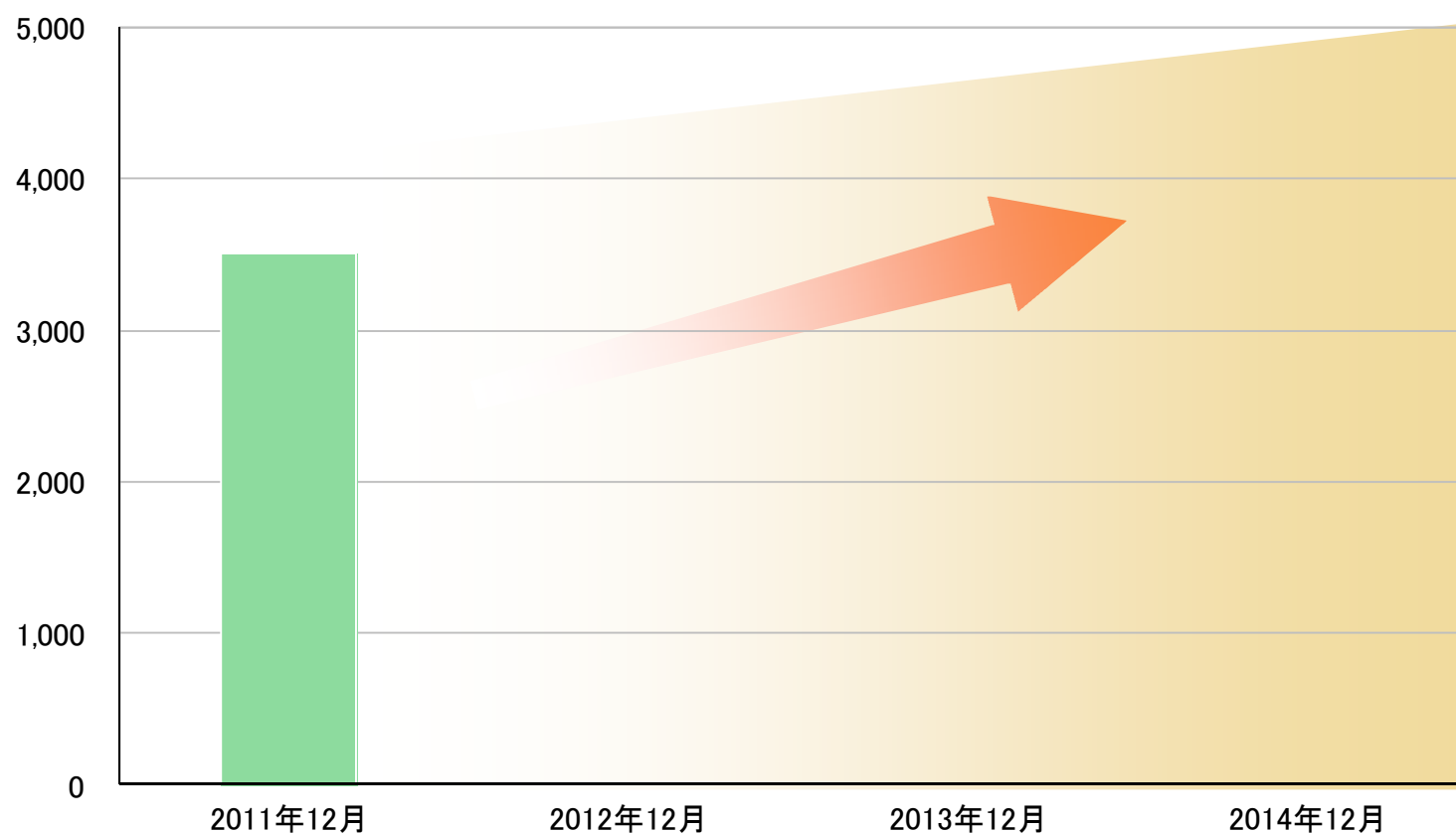


シリコンウエハ市場の動向

- 半導体用途の拡大に伴い、シリコンウエハの需要は、300mmを中心に伸びていくと予想される。

300mmウエハの需要予想

(千枚/月)



出所：弊社推測



今後の経営戦略

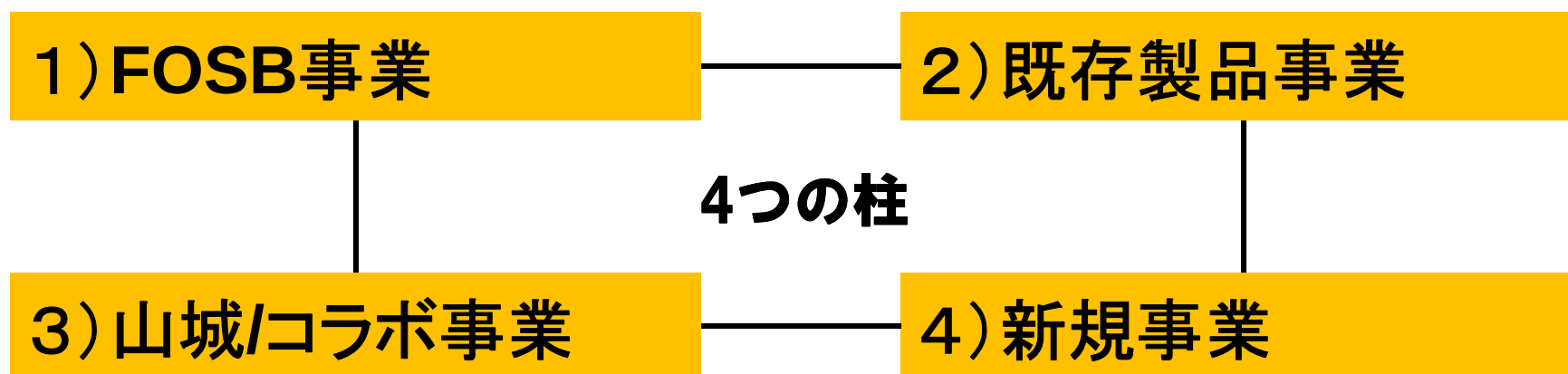


基本方針

基本方針

1. 現存事業の安定利益源化
2. 新たな収益源の構築
3. グループ基盤の強化

4つの柱





1. 現存事業の安定利益源化

1) FOSB (300mm&450mm) 事業

- 300mmFOSBシェアの維持
- 450mmFOSBの着実な発進



品質の造り込みとコスト削減

2) 既存製品事業

①プラスチック成形事業(ミライアル)

- 当社コア技術の再確認



- 新製品開発、販売チャネル拡大

②成形機事業(山城)

- 標準汎用機の販売促進と原価低減、大型機の販売促進
- 付加価値の高い特殊機の販売強化



2. 新たな収益源の構築

3) 山城/コラボ事業

- 成形機(山城)と成形品(ミライアル)のコラボレーション



- 縦型による成形品の製造立ち上げ ➡ 新製品開発

4) 新規事業

① 新規製品開発

- グループ内技術の活用、マーケットの掘り起こし

② 新規事業の創出

- ドメイン拡大・多角化による事業リスクの分散



本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経理部

電話: 03-3986-3782 FAX: 03-3986-3853 E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。